

学校自慢

「世の中を優しくする学校」

～地域に向けて 発信！発進！～

県立君津特別支援学校長 佐川 桂子



1 はじめに

県立君津特別支援学校は、木更津市、君津市、富津市を学区とし、主に知的障害教育や病弱教育を担う学校である。地域に支えられ、また、地域の特別支援教育のセンター的機能を果たしつつ、平成30年度に創立40周年を迎えた。

表題の「世の中を優しくする学校」は、本校の教育目標の一節である。障害のある人もない人も共に活躍し、尊重し合える共生社会の形成を目指し、本校の児童生徒の持っている力や可能性を地域社会に向けて発信し、地域活動に積極的に関わり発進していこうという思いが込められている。地域に向けた様々な活動の中から二つの取組を紹介する。

2 きみつキラキラ大作戦！！

高等部の作業学習班の一つであるサービス班の生徒が、君津青年経営研究会の皆さんとの協働で、年3回、君津駅の清掃活動に取り組んでいる。生徒たちは、作業学習で習得した窓清掃の技術を生かしコンコース等の窓を丁寧に拭きあげ、通路にこびりついたガム取りも行った。



清掃活動中、道行く方々から、「こんにちは」「きれいになったね」「がんばっているね」と声をかけられ、生徒たちは、働く喜びや地域に貢

献している実感を得ることができた。活動を重ね、今年度は3年目となる。共に活動する地域の仲間を増やし、さらなる広がりを目指したい。

3 KIMI（君特）☆KIMI（君高）コラボ音楽会

平成29年度から、県立君津高等学校吹奏楽部の皆さんとのコラボ音楽会を開催している。

30年度も、君高での合同練習を重ね生徒同士の交流を深め、当日は、約120名の観客を前に、2018年のヒット曲「U. S. A.」や「ハナミズキ」等の楽曲を演奏した。手話を付けた歌も披露し、多くの方に喜んでもらうことができた。



後日、観客の方から、「生きる力を失いかけていた自分であったが、この演奏を聴いて生きる力をもらいました。皆さんの全てが私の癒しです。」という手紙をいただき、生徒の持っている力を改めて感じた次第である。

4 おわりに

本校の児童生徒が持つ可能性を最大限に引き出し、共生社会の形成に向けて、さらに世の中を優しくしていけるよう、引き続き、地域に向けて、発信、そして、発進していきたい。